



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL http://www.sr-net.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)布目 秀樹
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員企画広報室 (氏名)小池 貴司 (TEL) (052)-413-6820
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,053	11.5	354	64.5	359	64.4	209	53.9
26年3月期第3四半期	6,322	16.9	215	8.6	218	12.8	135	34.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 210百万円(57.1%) 26年3月期第3四半期 134百万円(32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	100.07	—
26年3月期第3四半期	64.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,466	2,993	46.2
26年3月期	5,900	2,679	45.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,991百万円 26年3月期 2,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,711	6.6	732	28.2	727	26.2	398	6.4	190.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) イリイ株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	2,090,000株	26年3月期	2,090,000株
27年3月期3Q	340株	26年3月期	314株
27年3月期3Q	2,089,673株	26年3月期3Q	2,089,768株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	
(1) 生産実績	9
(2) 外注実績	9
(3) 仕入実績	9
(4) 受注実績	10
(5) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策によって企業収益や雇用情勢に改善等が見られるなど回復基調で推移したものの、先行きについては消費税率引き上げ後の個人消費に弱さがみられることや海外景気の下振れなどによる影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

日銀が発表した平成26年12月の短観（企業短期経済観測調査）によると業況判断指数（DI）は、大企業製造業で9月の前回調査より1ポイント下落し、プラス12ポイントとなりました。自動車では9月比6ポイント下落しプラス14ポイントとなったものの、生産用機械では8ポイント上昇しプラス27ポイントとなりました。大企業非製造業は3ポイント上昇し、プラス16ポイントとなり、全体としてまだら模様となりました。また、3か月見通しでは大企業製造業は3ポイント下落のプラス9ポイントとなっており、引き続き先行きが不透明な状況を反映しております。

一方、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計」によると、平成26年11月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比2.5%増と16か月連続の増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は、同0.8%増加、「ソフトウェアプロダクト」は同6.9%増加、「システム等管理運営受託」は同5.1%増加となりました。

このような経営環境のなか、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、自動車関連製造業、食品メーカー、流通業などからのIT投資需要が堅調で、既存取引先向けソフト開発などが伸びたことで、企業のシステム構築を中心とするSIサービス業務の売上高は、3,864,559千円（前年同期比15.2%増）となりました。ソフトウェア開発業務においては、既存顧客からの継続受注を安定的に確保でき堅調に推移したことから売上高は、2,682,169千円（前年同期比12.8%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、Windows XP（マイクロソフト社のOS（基本ソフト））サポート終了や、消費税率引き上げによる特需の反動により、売上高は、386,300千円（前年同期比13.7%減）、商品販売では、パソコンやネットワーク機器などの販売で、114,547千円（前年同期比18.0%減）、その他のWEBサイトの運営などでは5,858千円（前年同期比7.8%減）となりました。

利益面におきましては、顧客のIT投資需要が堅調であることなどから、SE稼働率が向上しております。また、経費削減策として、プロジェクト毎の原価管理の徹底、その他不要不急の経費を抑えるなどコスト削減策の継続実施に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,053,435千円（前年同期比11.5%増）、営業利益354,373千円（前年同期比64.5%増）、経常利益359,384千円（前年同期比64.4%増）、四半期純利益209,128千円（前年同期比53.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、仕掛品および退職給付に係る資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ566,018千円増加し、6,466,571千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、退職給付に係る負債が減少したものの、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ252,010千円増加し、3,472,938千円となりました。

当3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当を行った一方で退職給付に関する会計基準および同適用指針の適用に伴う期首利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ314,007千円増加し、2,993,632千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成26年10月24日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であったイリイ株式会社は、平成26年10月1日付で、当社を存続会社とし、当社の特定子会社であるイリイ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が171,008千円減少し、退職給付に係る資産が150,145千円及び利益剰余金が207,786千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13,636千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,791,886	2,123,045
受取手形及び売掛金	2,101,865	1,790,151
商品及び製品	6,560	5,216
仕掛品	39,492	490,211
貯蔵品	4,728	6,516
その他	237,437	212,270
貸倒引当金	△209	△178
流動資産合計	4,181,761	4,627,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	581,762	557,660
土地	604,806	604,806
その他(純額)	20,509	19,966
有形固定資産合計	1,207,078	1,182,433
無形固定資産		
ソフトウェア	251,834	222,107
その他	8,623	8,483
無形固定資産合計	260,458	230,591
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	193,796
その他	251,254	232,516
投資その他の資産合計	251,254	426,313
固定資産合計	1,718,791	1,839,337
資産合計	5,900,553	6,466,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,172	330,495
短期借入金	40,000	345,000
1年内返済予定の長期借入金	839,335	857,196
未払法人税等	158,645	49,588
賞与引当金	422,023	266,371
受注損失引当金	—	16,677
その他	559,193	828,408
流動負債合計	2,315,371	2,693,737
固定負債		
長期借入金	706,057	727,982
退職給付に係る負債	185,535	—
その他	13,965	51,219
固定負債合計	905,557	779,201
負債合計	3,220,928	3,472,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	1,606,442	1,918,873
自己株式	△362	△410
株主資本合計	2,673,780	2,986,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,805	5,034
退職給付に係る調整累計額	△661	217
その他の包括利益累計額合計	3,144	5,252
少数株主持分	2,700	2,217
純資産合計	2,679,624	2,993,632
負債純資産合計	5,900,553	6,466,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,322,023	7,053,435
売上原価	5,123,669	5,674,161
売上総利益	1,198,354	1,379,273
販売費及び一般管理費	983,008	1,024,899
営業利益	215,345	354,373
営業外収益		
受取利息	25	26
受取配当金	246	278
受取保険金	—	2,000
助成金収入	10,896	8,079
保険配当金	2,768	1,344
その他	699	3,588
営業外収益合計	14,636	15,318
営業外費用		
支払利息	11,080	10,262
その他	313	45
営業外費用合計	11,394	10,307
経常利益	218,587	359,384
特別損失		
固定資産除却損	17	172
事務所移転費用	—	9,767
特別損失合計	17	9,939
税金等調整前四半期純利益	218,570	349,444
法人税等	84,403	140,799
少数株主損益調整前四半期純利益	134,167	208,645
少数株主損失(△)	△1,642	△483
四半期純利益	135,809	209,128

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	134,167	208,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	1,228
退職給付に係る調整額	—	879
その他の包括利益合計	△45	2,108
四半期包括利益	134,121	210,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,764	211,236
少数株主に係る四半期包括利益	△1,642	△483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	4,375,416	119.1
ソフトウェア開発業務	2,682,169	112.8
ソフトウェアプロダクト業務	380,116	84.5
その他	5,992	94.3
合計	7,443,694	114.4

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 外注実績

当第3四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	外注高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,780,105	118.8
ソフトウェア開発業務	769,814	124.0
ソフトウェアプロダクト業務	22,744	63.4
その他	2,298	81.7
合計	2,574,962	119.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
商品販売	96,987	106.2

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	4,857,086	116.3	1,551,052	105.6
ソフトウェア開発業務	2,875,854	114.7	463,196	112.4
ソフトウェアプロダクト業務	461,051	95.3	51,016	53.9
商品販売	130,232	92.9	11,345	173.0
合計	8,324,224	113.9	2,076,610	104.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	3,864,559	115.2
ソフトウェア開発業務	2,682,169	112.8
ソフトウェアプロダクト業務	386,300	86.3
商品販売	114,547	82.0
その他	5,858	92.2
合計	7,053,435	111.5

(注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱トヨタコミュニケーションシステム	722,418	11.4	909,872	12.8

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。